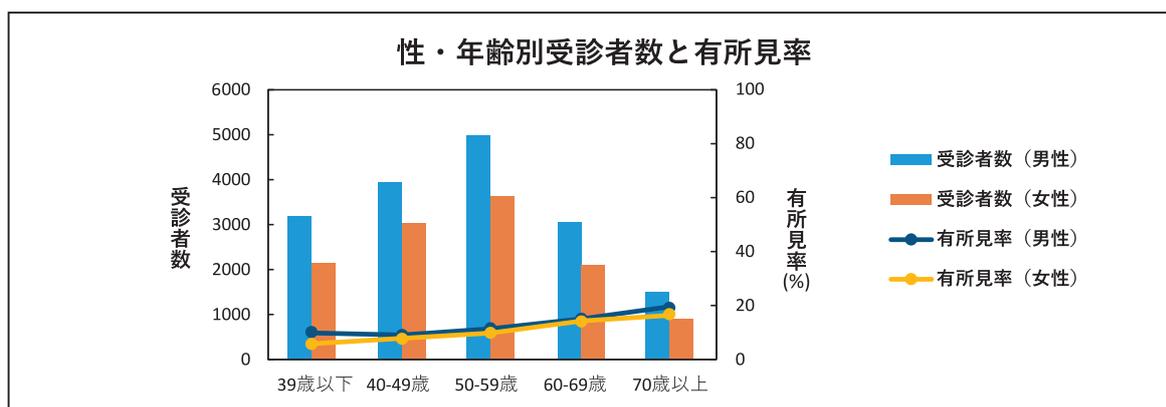


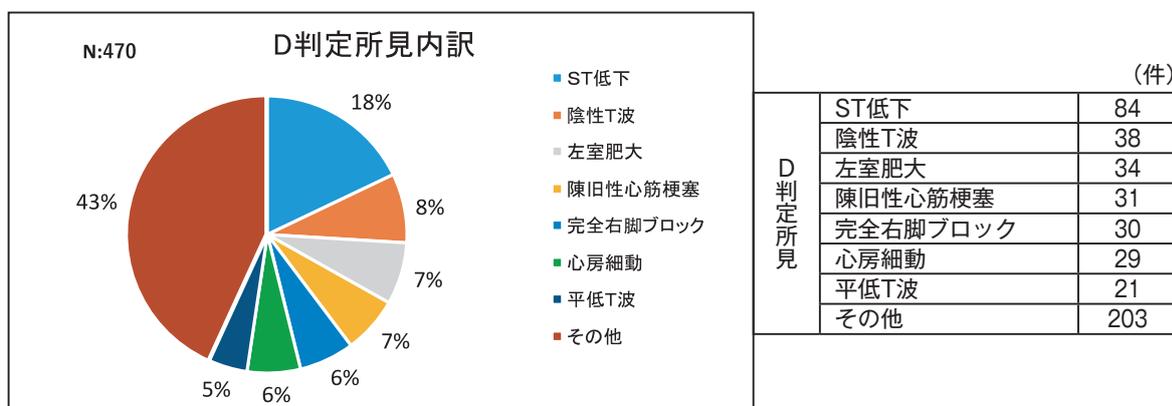
## 安静時心電図検査

性別	年齢	受診者数	正常者数 A・B判定(%)	経過観察者数 C判定(%)	要精検者数 D判定(%)	治療中 F判定(%)
男性	39歳以下	3,202	2,846 (88.9)	330 (10.3)	18 (0.6)	8 (0.2)
	40-49歳	3,952	3,548 (89.8)	364 (9.2)	28 (0.7)	12 (0.3)
	50-59歳	4,969	4,309 (86.7)	547 (11.0)	59 (1.2)	54 (1.1)
	60-69歳	3,046	2,496 (81.9)	423 (13.9)	52 (1.7)	75 (2.5)
	70歳以上	1,535	1,147 (74.7)	272 (17.7)	32 (2.1)	84 (5.5)
女性	39歳以下	2,165	2,027 (93.6)	135 (6.2)	2 (0.1)	1 (0.05)
	40-49歳	3,031	2,774 (91.5)	244 (8.1)	9 (0.3)	4 (0.1)
	50-59歳	3,649	3,254 (89.2)	374 (10.2)	14 (0.4)	7 (0.2)
	60-69歳	2,113	1,778 (84.1)	294 (13.9)	22 (1.0)	19 (0.9)
	70歳以上	919	739 (80.4)	147 (16.0)	12 (1.3)	21 (2.3)
計		28,581	24,918 (87.2)	3,130 (11.0)	248 (0.9)	285 (1.0)

安静時心電図検査の受診者数は28,581人、このうち要精検者数は248人(0.9%)、治療中は285人(1.0%)でした。



受診者数は28,581人、このうち有所見者数は3,378人(11.3%)。男女とも加齢とともに有所見率が増加しています。



陳旧性心筋梗塞と判定された1人は、植込み型除細動器術施行となりました。  
心房細動と判定された1人は、アブレーション施行となりました。

## 安静時心電図検査所見

	男性	女性	総計
要精検者数	364(2.2%)	106(0.9%)	470
受診者数	16,704	11,877	28,581
PQ間隔短縮	2	0	2
QT延長	2	5	7
QT短縮	1	0	1
reversed r progressi	1	0	1
rsr'パターン	0	2	2
R波増高不良	4	0	4
ST・T異常	8	2	10
ST上昇	1	0	1
ST低下	60	24	84
WPW症候群	2	0	2
ブルガダ型	16	0	16
異常Q波	3	1	4
移動性ペースメーカー	0	1	1
陰性T波	28	10	38
右軸偏位	3	0	3
右室肥大	1	0	1
冠状静脈洞調律	0	1	1
完全右脚ブロック	26	4	30
完全左脚ブロック	5	3	8
巨大陰性T波	4	0	4
軽度のQT延長	2	0	2
高電位	9	0	9
左脚前枝ブロック	13	1	14
左軸偏位	10	1	11
左室拡大	0	1	1
左室肥大	27	7	34
時計回転	2	1	3
上室性期外収縮	3	4	7
上室性期外収縮(shortrun)	3	2	5
上室性期外収縮(連発)	3	0	3
心筋梗塞	1	0	1
心室性期外収縮	9	1	10
心室性期外収縮(二段脈)	2	0	2
心室性期外収縮(多形性)	2	0	2
心室性期外収縮(連発)	1	1	2
心室性補充収縮	0	1	1
心室性補充調律	1	0	1
心室内伝導障害	2	0	2
心室頻拍	0	1	1
心房細動	25	4	29
心房粗動	1	0	1
早期再分極	5	2	7
増高T波	3	0	3
第I度房室ブロック	3	0	3
第II度房室ブロック(W	1	0	1
陳旧性心筋梗塞	21	10	31
洞機能不全症候群	1	3	4
洞性徐脈	5	1	6
洞性徐脈(高度)	3	1	4
洞性頻脈	2	0	2
洞性頻脈(軽度)	7	4	11
洞性不整脈	1	0	1
洞停止	1	0	1
洞房ブロック	2	0	2
発作性上室性頻拍	0	1	1
反時計回転	0	1	1
頻脈	2	2	4
不完全右脚ブロック	4	0	4
不完全左脚ブロック	1	0	1
平低T波	18	3	21
房室接合部調律	1	0	1

赤字は紹介率50%以上の所見